



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 株式会社セブン銀行 上場取引所 東  
コード番号 8410 URL <https://www.sevenbank.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松橋 正明  
問合せ先責任者(役職名) 執行役員企画部長 (氏名) 清水 健 (TEL) 03-3211-3041  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —  
特定取引勘定設置の有無 無  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(表示単位未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	144,807	26.7	22,950	0.3	36,584	138.6
2023年3月期第3四半期	114,208	10.6	22,868	△2.6	15,328	△4.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 40,049百万円(102.9%) 2023年3月期第3四半期 19,737百万円(17.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	31.16	—
2023年3月期第3四半期	13.03	—

(注) 2024年3月期第3四半期における「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有しないため、記載しておりません。また、2023年3月期第3四半期における「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,882,690	280,490	14.6
2023年3月期	1,312,273	254,242	19.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 275,942百万円 2023年3月期 250,630百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
2024年3月期	—	5.50	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	198,500	28.0	25,500	△11.8	38,300	103.1
						32.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 1社(社名) 株式会社セブン・カードサービス 、 除外 1社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	1,179,308,000株	2023年3月期	1,179,308,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	9,394,917株	2023年3月期	3,098,170株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	1,173,789,759株	2023年3月期3Q	1,175,870,901株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【添付資料】

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	4
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(表示方法の変更)	8
(追加情報)	8
(別紙) 2024年3月期 第3四半期決算補足資料	

※当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。  
説明会の音声は、開催後当社WEBサイトで掲載する予定です。

2024年2月9日（金） アナリスト・機関投資家向け決算説明会（電話会議）

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

## ・当期間の経営成績

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の景気は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行する等、行動制限の緩和が一層進み、経済活動の正常化による個人消費の持ち直しの動きが見られました。一方、エネルギーコストや原材料価格の高騰に伴う物価上昇や為替変動による影響に加え、世界的な金融引締めによる景気への影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような環境の中、当社グループは、「安心・安全」なA T Mサービス等を提供し続ける社会インフラとしての使命を果たすことに努めてまいりました。人流回帰や資金需要の回復によるA T M総利用件数が増加したことや、2023年7月1日付で株式会社セブン・カードサービスを連結子会社化した影響などにより、当第3四半期連結累計期間の当社連結業績は、経常収益144,807百万円、経常利益22,950百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益36,584百万円となりました。

なお、セブン銀行単体では、経常収益97,391百万円、経常利益24,074百万円、四半期純利益15,968百万円となりました。

(経営成績)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期間比
経常収益	114,208	144,807	26.7%増
経常利益	22,868	22,950	0.3%増
親会社株主に帰属する 四半期純利益	15,328	36,584	138.6%増

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

なお、第2四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

## ①国内事業（銀行業その他）セグメント

当第3四半期連結累計期間は、預貯金金融機関の取引件数の増加に加え、引続き当社A T Mを利用した各種キャッシュレス決済への現金でのチャージ取引件数が順調に増加したことにより、A T M総利用件数は前年同期を上回る水準で推移いたしました。

2023年12月末現在のA T M設置台数は27,302台（2022年12月末比2.1%増）、当第3四半期連結累計期間のA T M 1日1台当たり平均利用件数は105.5件（前年同期間比3.8%増）、A T M総利用件数は782百万件（同6.1%増）となりました。なお、2023年12月末現在の提携金融機関等は669先（注）、第4世代A T Mの設置台数は17,768台（2022年12月末比40.7%増）となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響に加え、為替相場の変動及びそれに伴う原材料価格の動向等により、依然として先行き不透明な事業環境が予想されますが、A T Mの社会的価値を現金プラットフォームからサービスプラットフォームへと進化させ、社会の変化・お客さまニーズの変化に柔軟に対応したA T Mプラットフォーム戦略を今後も推進してまいります。

（注）J Aバンク及びJ Fマリンバンクについては、業態としてそれぞれ1つとしております。

	2023年3月期		2024年3月期	
	第3四半期 連結累計期間	通期	第3四半期 連結累計期間	通期 (予想)
■ A T M 1日1台当たり平均利用件数	101.6件	101.5件	105.5件	103.8件
■ A T M期間総利用件数	737百万件	980百万件	782百万件	1,030百万件
■ A T M台数	26,731台	26,913台	27,302台	27,334台

株式会社セブン銀行（8410）2024年3月期 第3四半期決算短信（連結）

2023年12月末現在、個人のお客さまの預金口座数は2,964千口座（2022年12月末比10.1%増）と順調に増加し、個人向け預金残高は6,036億円（同4.4%増）となりました。なお、個人向けローンサービスの残高は、2023年12月末現在で411億円（同26.0%増）となりました。

また、「セブン銀行後払いサービス」の当第3四半期連結累計期間における取扱高は445億円となりました。

当社は社会の変化に伴い顕在化・深刻化する社会課題解決への貢献をビジネス機会と捉え、これまで培ったノウハウに加え、外部企業とも連携し、さまざまなお客さまのニーズに応じた新たな金融サービスを提供することを目指してまいります。

	2023年3月期		2024年3月期	
	第3四半期 連結累計期間	通期	第3四半期 連結累計期間	通期 (予想)
■個人口座数	2,690千口座	2,755千口座	2,964千口座	3,047千口座
■個人預金残高	5,780億円	5,756億円	6,036億円	6,402億円
うち普通預金残高	4,529億円	4,526億円	4,846億円	—
うち定期預金残高	1,250億円	1,229億円	1,189億円	—
■個人向けローン残高	326億円	351億円	411億円	440億円

②クレジットカード・電子マネー事業セグメント

当社は、クレジットカード事業・電子マネー事業を営む株式会社セブン・カードサービスを2023年7月1日付で連結子会社化したしました。

2023年12月末時点でのクレジットカード会員数は356万人、クレジットカードキャッシング残高は105億円となりました。なお、連結対象期間（2023年7月～12月）のクレジットカードショッピング取扱高は4,133億円となりました。

また、2023年12月末時点での電子マネー「nanaco」会員数は8,176万人、連結対象期間（2023年7月～12月）の電子マネー取扱高は9,378億円となりました。

③海外事業セグメント

米国における当社連結子会社のFCTI, Inc. は、米国セブン・イレブン店舗内にATMを設置しており、2023年9月末時点でのATM設置台数は8,651台（2022年9月末比0.6%減）となりました。

また、FCTI, Inc. の連結対象期間（2023年1月～9月）の業績は、政策金利の上昇に伴う資金調達費用の上昇等により、経常収益143.3百万米ドル（前年同期比2.4%増）、経常損失8.3百万米ドル（前年同期間は1.5百万米ドルの経常損失）、四半期純損失6.2百万米ドル（前年同期間は1.7百万米ドルの四半期純損失）となりました。

インドネシアにおける当社連結子会社PT. ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONALは、コロナ禍においても堅調に事業を推進し、2023年9月末時点のATM設置台数は7,359台（2022年9月末比55.4%増）となっております。

また、フィリピンにおける当社連結子会社Pito AxM Platform, Inc. は、フィリピン国内のセブン・イレブン店舗へのATM設置が堅調に推移し、2023年9月末時点のATM設置台数は2,752台（2022年9月末比39.9%増）となっております。

## （2）財政状態に関する定性的情報

総資産は1,882,690百万円となりました。このうちATM運営のために必要な現金預け金が1,099,850百万円と過半を占めております。この他、主に為替決済、日本銀行当座貸越取引の担保等として必要な有価証券が120,073百万円、提携金融機関との一時的な立替金であるATM仮払金が224,142百万円となっております。

負債は1,602,199百万円となりました。このうち主なものは預金であり、その残高（譲渡性預金を除く）は951,108百万円となっております。なお、個人向け普通預金残高は484,681百万円、定期預金残高は118,976百万円となっております。

純資産は280,490百万円となりました。このうち利益剰余金は206,449百万円となっております。

（財政状態）

（単位：百万円）

	前連結会計年度	当第3四半期連結会計期間	増減
総資産	1,312,273	1,882,690	570,417
負債	1,058,031	1,602,199	544,168
純資産	254,242	280,490	26,248

## （3）業績予想に関する定性的情報

現時点では2023年11月10日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変更がある場合には、適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	952,027	1,099,850
コールローン	28,000	50,000
金銭の信託	-	20,000
有価証券	99,651	120,073
貸出金	35,111	53,216
外国為替	0	0
A T M仮払金	98,296	224,142
会員未収金	-	148,141
その他資産	30,273	80,593
有形固定資産	30,256	36,573
無形固定資産	34,350	44,015
退職給付に係る資産	1,113	2,056
繰延税金資産	4,712	9,702
貸倒引当金	△1,521	△5,674
資産の部合計	1,312,273	1,882,690
<b>負債の部</b>		
預金	820,758	951,108
譲渡性預金	750	750
コールマネー	50,000	217,000
借入金	9,958	14,683
社債	85,000	65,000
A T M仮受金	54,773	119,489
クレジットカード事業未払金	-	47,840
電子マネー預り金	-	76,408
その他負債	35,282	108,577
賞与引当金	826	506
退職給付に係る負債	15	17
役員退職慰労引当金	-	29
株式給付引当金	631	732
繰延税金負債	34	55
負債の部合計	1,058,031	1,602,199
<b>純資産の部</b>		
資本金	30,724	30,724
資本剰余金	30,864	30,867
利益剰余金	182,431	206,449
自己株式	△900	△2,747
株主資本合計	243,120	265,294
その他有価証券評価差額金	500	354
為替換算調整勘定	6,783	9,940
退職給付に係る調整累計額	226	352
その他の包括利益累計額合計	7,510	10,648
新株予約権	-	7
非支配株主持分	3,611	4,540
純資産の部合計	254,242	280,490
負債及び純資産の部合計	1,312,273	1,882,690

## （2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自2022年4月1日 至2022年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自2023年4月1日 至2023年12月31日）
経常収益	114,208	144,807
資金運用収益	3,594	5,868
（うち貸出金利息）	3,425	5,365
（うち有価証券利息配当金）	52	110
役務取引等収益	109,860	137,156
（うちATM受入手数料）	100,686	111,857
（うちクレジットカード営業収入）	-	6,859
（うち電子マネー営業収入）	-	7,350
その他業務収益	568	305
その他経常収益	183	1,476
経常費用	91,339	121,857
資金調達費用	567	855
（うち預金利息）	25	23
役務取引等費用	30,898	39,322
（うちATM設置支払手数料）	23,551	23,574
（うちATM支払手数料）	3,385	7,581
（うちクレジットカード業務経費）	-	2,568
（うち電子マネー業務経費）	-	738
営業経費	58,012	79,316
その他経常費用	1,860	2,363
経常利益	22,868	22,950
特別利益	6	22,326
固定資産処分益	6	-
関係会社株式売却益	-	785
負ののれん発生益	-	21,540
特別損失	206	1,429
固定資産処分損	206	364
減損損失	-	269
その他の特別損失	-	795
税金等調整前四半期純利益	22,667	43,846
法人税、住民税及び事業税	7,544	7,081
法人税等調整額	△142	144
法人税等合計	7,402	7,226
四半期純利益	15,265	36,620
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△62	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,328	36,584



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自2022年4月1日 至2022年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自2023年4月1日 至2023年12月31日）
四半期純利益	15,265	36,620
その他の包括利益	4,472	3,428
その他有価証券評価差額金	△165	△145
為替換算調整勘定	4,676	3,622
退職給付に係る調整額	△38	△47
四半期包括利益	19,737	40,049
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,370	39,548
非支配株主に係る四半期包括利益	367	501

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

該当事項はありません。

（表示方法の変更）

当第3四半期連結累計期間より、一部の海外連結子会社において従来営業経費に計上しておりました費用を、区分掲記しているA T M設置支払手数料として計上しております。

これは、当該海外連結子会社の事業規模の拡大に伴い、より取引を適切に反映した連結財務諸表の開示を行うために表示方法の変更を行ったものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に表示しておりました役務取引等費用30,589百万円、及び区分掲記しているA T M設置支払手数料23,242百万円、並びに営業経費58,321百万円は、それぞれ役務取引等費用30,898百万円、A T M設置支払手数料23,551百万円、並びに営業経費58,012百万円として組替えております。

（追加情報）

（重要な会計上の見積り）

連結子会社FCTI, Inc.におけるA T M設置契約に関連するその他資産、有形固定資産、無形固定資産及び繰延税金資産の見積り

(1) 当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に計上した金額

その他資産	411百万円
有形固定資産	573百万円
無形固定資産	1,047百万円
繰延税金資産	3,525百万円

(2) 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

連結子会社であるFCTI, Inc.において、7-Eleven, Inc.とのA T M設置契約が更新されることを主要な仮定として、その他資産、有形固定資産、無形固定資産の収益性及び繰延税金資産の回収可能性を検討しております。

当該契約の更新は交渉段階にあり一定程度の不確実性が伴います。当該契約の更新がなされなかった事により見積りが実際と異なった場合、当連結会計年度の損益に影響を与える可能性があります。

2024年3月期 第3四半期決算補足資料

目 次

1. 四半期財務諸表（単体） .....	補足2
(1) 四半期貸借対照表（単体） .....	補足2
(2) 四半期損益計算書（単体） .....	補足3
2. 自己資本比率（国内基準）の状況 .....	補足4
(1) 連結自己資本比率（国内基準）の状況 .....	補足4
(2) 単体自己資本比率（国内基準）の状況 .....	補足4

## 1. 四半期財務諸表（単体）

## (1) 四半期貸借対照表（単体）

（単位：百万円）

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
現金預け金	925,965	1,063,365
コールローン	28,000	50,000
金銭の信託	—	20,000
有価証券	122,324	173,641
貸出金	35,571	41,588
外国為替	0	0
A T M仮払金	96,541	221,649
その他資産	24,051	31,939
有形固定資産	22,317	26,378
無形固定資産	32,441	36,377
前払年金費用	728	869
繰延税金資産	1,161	1,204
支払承諾見返	—	13,300
貸倒引当金	△1,409	△2,363
資産の部合計	1,287,693	1,677,949
負債の部		
預金	824,778	989,307
譲渡性預金	750	750
コールマネー	50,000	217,000
社債	85,000	65,000
A T M仮受金	54,773	119,489
その他負債	27,603	27,421
賞与引当金	529	309
株式給付引当金	631	732
支払承諾	—	13,300
負債の部合計	1,044,066	1,433,311
純資産の部		
資本金	30,724	30,724
資本剰余金	30,724	30,724
利益剰余金	182,578	185,574
自己株式	△900	△2,747
株主資本合計	243,127	244,277
その他有価証券評価差額金	500	354
評価・換算差額等合計	500	354
新株予約権	—	7
純資産の部合計	243,627	244,638
負債及び純資産の部合計	1,287,693	1,677,949

(2) 四半期損益計算書（単体）  
第3四半期累計期間

（単位：百万円）

	前第3四半期累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）
経常収益	89,681	97,391
資金運用収益	3,554	4,511
（うち貸出金利息）	3,412	4,299
（うち有価証券利息配当金）	52	110
役務取引等収益	85,835	91,722
（うちA T M受入手数料）	78,317	83,884
その他業務収益	151	306
その他経常収益	140	851
経常費用	65,406	73,317
資金調達費用	355	198
（うち預金利息）	25	23
役務取引等費用	16,964	19,008
（うちA T M設置支払手数料）	12,933	13,200
（うちA T M支払手数料）	903	1,994
営業経費	46,633	53,126
その他経常費用	1,453	983
経常利益	24,275	24,074
特別利益	—	200
関係会社株式売却益	—	200
特別損失	512	955
固定資産処分損	175	357
関係会社株式評価損	337	297
その他の特別損失	—	299
税引前四半期純利益	23,762	23,319
法人税、住民税及び事業税	7,507	7,329
法人税等調整額	8	21
法人税等合計	7,515	7,350
四半期純利益	16,247	15,968

## 2. 自己資本比率（国内基準）の状況

## (1) 連結自己資本比率（国内基準）の状況

	2023年12月末	(参考) 2023年3月末
連結自己資本比率（国内基準）	31.32%	46.51%

## (2) 単体自己資本比率（国内基準）の状況

	2023年12月末	(参考) 2023年3月末
単体自己資本比率（国内基準）	41.83%	52.47%